

活動案内 2012

「子供の森」計画

in カンボジア



子どもたちの「自然を愛する心」を育みながら地球緑化を進める「子供の森」計画。活動開始から3年が経つカンボジアでは参加学校数も増え地域住民の緑化への関心も少しずつ高まってきました。子どもたちへは継続的に“育てていく”ことの大切さを教え、緑化をさらに進めていきます。

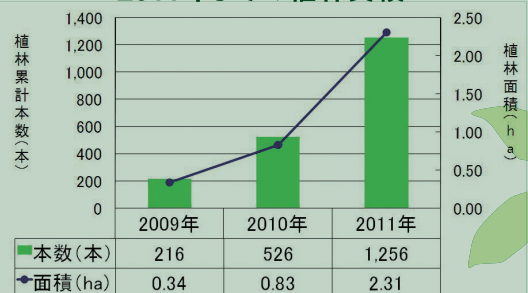


2011年の活動

- 2011年は4の学校で重点的に植林活動や環境教育を実施（植林730本・面積1.48ha）
- 植林だけでなく子どもたちや地域の人々に植林の必要性、木を育て続けて行くことの大切さを教えるための環境教育にも力を入れました

「子供の森」計画参加学校数(2009年からの累計値)：6校

2011年までの植林実績



カンボジア



- ◆ 人口：14,289百万人（2010年IMF推計値 日本は127,594百万人）
- ◆ 面積：18万1千km²（総務省統計局資料2008年値 日本は37万8千km²）
- ◆ 一人当たりGDP：813.798US\$（2011年9月IMF試算値 日本は45,774 US\$）
- ◆ 森林率：57%（2010年FAO公表値 日本は69%）
- ◆ 「子供の森」計画積極展開地域（丸印）：カンボンチャム



カンボジアの活動を支援して下さる方を募集しています。ご支援や各地域の子どもたちの活動の様子はこちらから

「子供の森」計画情報提供サイト www.kodomonono-mori.info



ベルマークや書き損じはがきも募集しています。ベルマークは1点1円として「子供の森」計画の支援となります。事務局までお送りください。

事務局



公益財団法人
オイスカ

〒168-0063 東京都杉並区和泉3-6-12
☎ (03) 3322-5161 ☎ (03) 3324-7111 E-mail oisca@oisca.org
<http://www.oisca.org/>



グリーンウェイブで初めての植林

子どもたちに木のある
快適な学校を!

チャムキリ小学校は、学校内に日よけになるような木がほとんどなく、子どもたちは暑い中で勉強をしています。そこで子どもたちのためにも植林を…と、「子供の森」計画を実施することになりました。まず行った環境教育ワークショップでは、子どもたちと先生たちに植林の必要性、木の役割、そして木を育て続けることの大切さを勉強してもらいました。その後、植林ができるように土地を整え、2011年5月21日に、国連が推進するグリーンウェイブキャンペーンに連動し、子どもたちと先生たちは学校に植林を行いました。

木を植えるのは初めての体験で子どもたちは皆大喜び。その後も、自分たちが植えた木への水やりや草取りなど、一生懸命手入れを行っています。植林したばかりの木々はまだ小さいですが、近い将来、木々は子どもたちに見守ら

れながら大きく育ち、新鮮な空気を供給したり、日よけとなって、学校へ良い環境を提供してくれることでしょう。今後もまだまだたくさんある学校内の空き地への植林を続けたいと思っています。



グリーンウェイブに参加し皆大喜び



はじめての植林で少し緊張気味です



ハッピー・ハッピープログラム

子どもたちが主役になって
Happyを届けているよ

この学校は1979年にゴムの木のプランテーションが広がる地域の中に建てられました。子どもたちはゴムの木のことしか知らず、森をつくるための木についてはあまり知りません。森をつくるためには様々な木を知ることが必要なのですが、学校内にはたった1種類のゴムの木しか植えられていませんでした。そこでオイスカは様々な木のことを勉強するワークショップを行った後、子どもたちと一緒に植林をしました。そして、環境活動や木の重要性を地域の多くの人たちにも広めるために、トゥールトリア小学校の子どもたちと「ハッピー・ハッピープログラム」というイベントを行いました。地域の人たちや他の学校の子どもたち

をこのイベントに招待し、約1ヶ月間練習を重ねた『木はこんなに役に立つ』という劇を披露しました。2011年11月6日に行ったこのイベントでは、600人ほどが参加し、子どもたちの演劇、クメールの伝統舞踊、森についてのクイズ、そして学校内での植林を行い、地域や多くの人々に“Happy(幸せ)”を届けました。



子ども劇「木はこんなに役に立つ」



イベントに参加した他の学校の子どもたち

TOPICS

アン・ケア・デイ (Ang Kea Dey)

アン・ケア・デイ(学名:Sesbania grandiflora)は、カンボジアではとても有名なマメ科の植物です。白や赤のきれいな花を咲かせます。アン・ケア・デイは、葉から花、実、また根までほとんど全ての部分が利用出来るため、カンボジアではとても重宝されています。葉は郷土料理のスープに使われ、花と根は、胃痛、歯痛、風邪および下痢のための薬として使われます。市場では、その葉や花が料理用に売られています。将来、子どもたちや村人たちのためにも、「子供の森」計画の学校にも植えて育てていきたいと考えています。



アン・ケア・デイの苗木